関川ゴミマップ

良好な河川環境のために!

~ 私たちの身近な河川は、ゴミの不法投棄によって大変汚れています ~

川辺で食べた弁当・空き缶・空きビンのポイ捨て、不要になった家電類、自転車、廃タイヤ、コンクリート殻、 雑誌などの<u>ゴミの不法投棄は「犯罪行為」です。</u>法律では<u>一般廃棄物を投棄した場合</u>

5年以下の懲役若しくは1、000万円以下の罰金に処せられ又はこれを併科されます

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第25条」

ゴミの不法投棄は、水質や景観など河川環境を悪化させるだけではなく、魚や鳥などの生態系にも悪影響を与えます。また、ゴミを処分するためには多額の費用もかかります。

豊かな自然で人々の憩いの場となっている河川敷では、散歩やジョキング、スポーツ、レクリエーションなど多くの人々から利用されています。また、河川管理者と地域が一体となって親しみある川づくりを行っています。良好な河川環境を保つためにもゴミの不法投棄をなくしましょう。

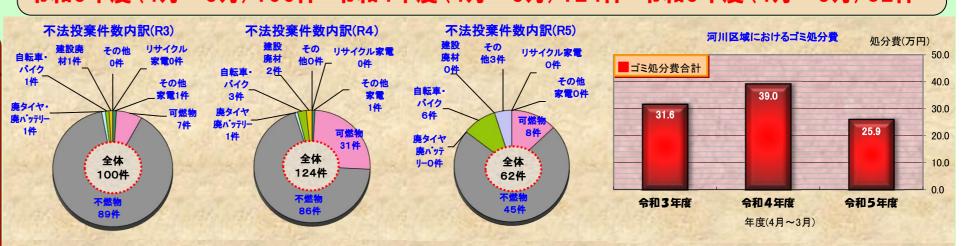
※平成21年4月1日から家電リサイクル法が改正され、エアコン・テレビ・冷蔵庫(冷凍庫)・洗濯機の4種類に加え「衣類乾燥機」が対象品目に加わり、更にテレビが「ブラウン管式」「液晶テレビ」「プラズマテレビ」に細 分化されました。対象家電を処分される場合は家電メーカーや電気店などにご相談下さい。

経済産業省HP家電リサイクルについて(http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/kaden_recycle/)

関川・保倉川 河川パトロールが発見した不法投棄件数

令和3年度(4月~3月)100件 令和4年度(4月~3月)124件 令和5年度(4月~3月)62件

令和5年度



国土交通省が管理する関川(河口~12.2K)、保倉川(関川合流部~佐内橋)の河川区域での河川パトロールで発見したゴミの不法投棄件数は、令和3年度100件、令和4年度124件、令和5年度62件となっています。令和5年度の内訳ではダンボール及び紙類等の可燃物、空缶・空瓶やプラスチック容器等の生活に密接した不燃物が大多数を占め、自転車等も投棄されています。また、河川区域におけるゴミ処分費は、令和3年度約32万円、令和4年度約39万円、令和5年度約26万円となっています。河川はゴミ箱ではありません。ゴミを捨てることによって川が汚れ、地球全体の環境を悪化させることにもつながります。みんなで環境意識を高めましょう。
※ゴミ処分費は、投棄物の種類や投棄量によって変動します。又、地域の皆さんの環境活動で集積されたゴミも含まれています。

